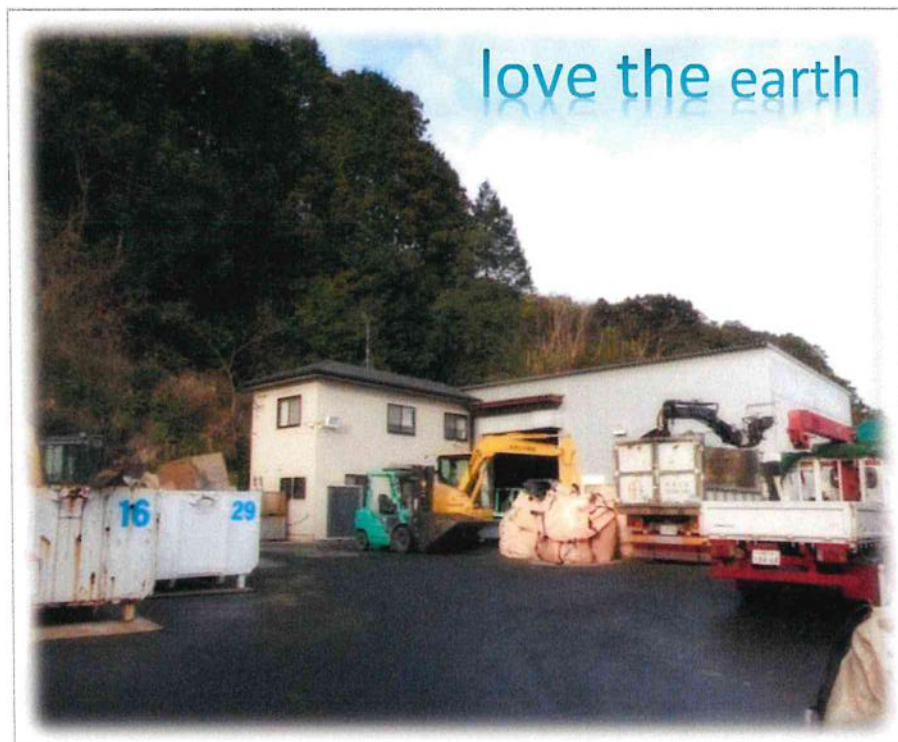


エコアクション21

環境経営レポート

2020年度版

(運用期間:2020年9月～2021年8月)



発行日:2021年9月27日

株式会社 西日本開発

目 次

計画の策定(Plan)

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画	7

計画の実施(Do)

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	8
-----------------------	---

取組状況の確認及び評価(Check)

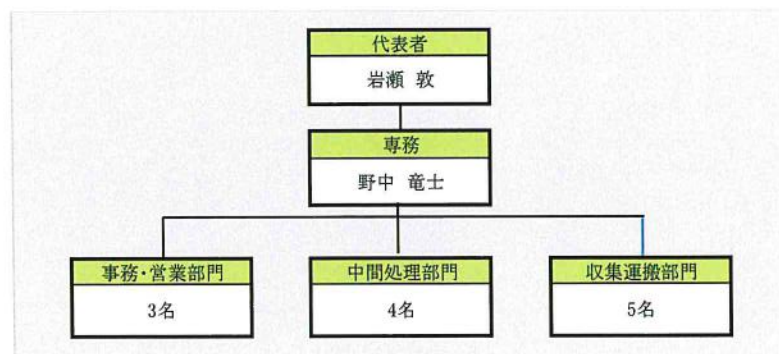
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・ 取組結果とその評価、並びに今後の取組	10
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果、並びに違反、訴訟等の有無	13

全体の評価と見直し(Act)

9. 代表者による取組状況の全体評価と 見直しの結果	13
-------------------------------	----

1. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 西日本開発
代表者氏名 代表取締役 岩瀬 敦
- 2) 所在地 本 社 〒811-1223 福岡県那珂川市大字上梶原1068-29
- 3) 環境管理責任者
連絡担当者 野中 竜士
連絡先 TEL 092-953-4127 FAX 092-953-4128
Eメールアドレス west-kaihatsu@nifty.com
- 4) 事業の内容 産業廃棄物収集・運搬及び処分業(中間処理)
URL <https://west-jpd.com/>
- 5) 設立年月日 2006年11月14日
- 6) 資本金 1,000万円
- 7) 事業の規模 総売上額: 180 百万円(2020年度)
従業員数: 16人
本社延べ床面積: 252㎡
- 8) 事業年度 9月～翌年8月
- 9) 組織図



10) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業				許可項目															
都道府県 及び政令 都市	積替 保管		許可の年月日 及び 有効年月日	許可番号	燃え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プラ スチ ック 類	紙 く ず	木 く ず	繊 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず 類	が れ き 類	ば い じ ん
	有	無																	
福岡県		●	2016年12月18日	第04000132198号	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		●	2021年12月17日																
佐賀県		●	2019年12月20日	第04101132198号	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		●	2024年12月21日																

<事業計画の概要>

許可を受けた産業廃棄物(9種類)について事業者から運搬の委託を受けた場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく契約を締結し、排出業者からマニフェストの交付を受け、指定された許可処分業者の事業場に運搬する。

産業廃棄物処分業				許可項目								
都道府県 及び政令 都市	事業区分	許可の年月日 及び 有効年月日	許可番号	廃 プラ スチ ック 類	紙 く ず	木 く ず	繊 維 く ず	動 植 物 性 残 さ	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず 類	が れ き 類
福岡県	中間処理(選別)	2016年10月20日～ 2021年10月19日	第04020132198号	●	●	●	●		●	●	●	●
	処理能力(t/8時間)			17t	17t	17t	17t		17t	17t	17t	17t
	中間処理(圧縮)			●	●		●			●		
	処理能力(t/8時間)			3.05t	1.96t		4.49t			1.54t		

11) 施設等の状況(運搬車両の種類と台数)

<収集運搬車両>

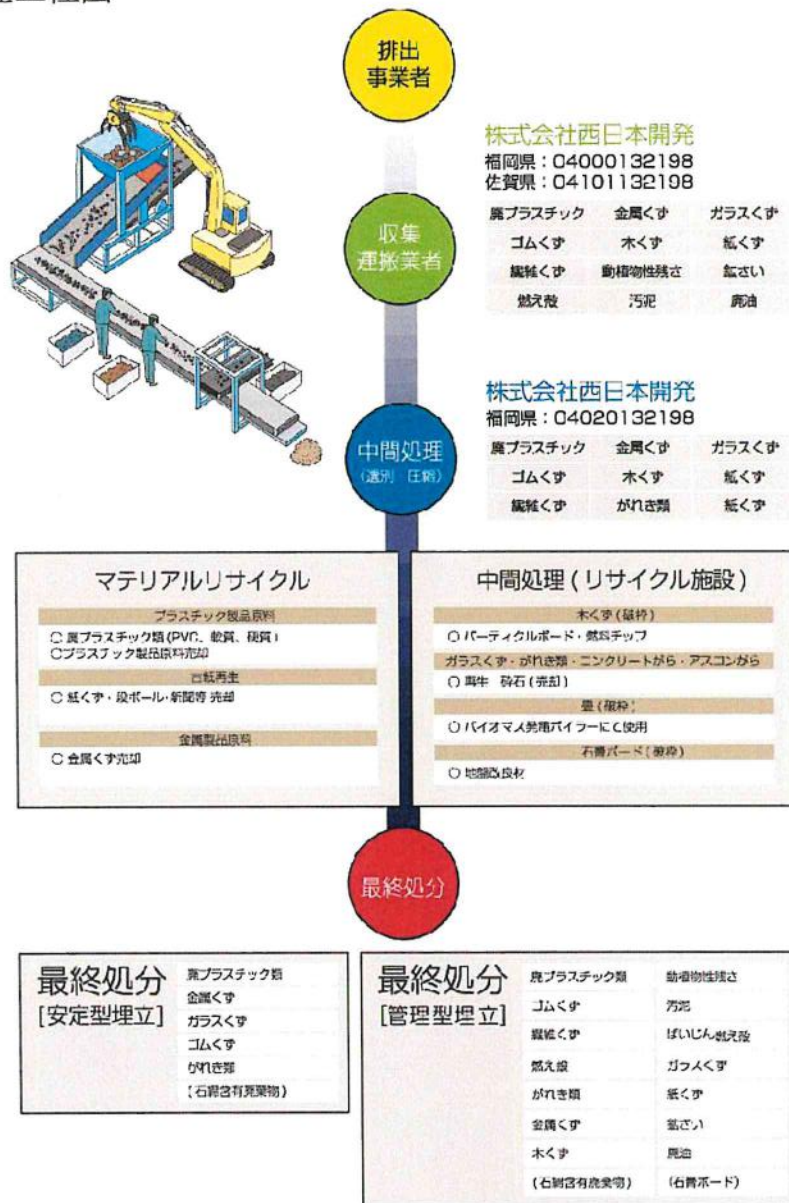
4tクラム付きトラック(三菱)	:1台
4t脱着式ダンプ(日野)	:2台
4t脱着式ダンプ(日産)	:1台
2t脱着式ダンプ(三菱)	:2台
2tユニック車(いすず)	:2台
軽トラック(スズキ)	:1台

<中間処理施設>

4t脱着装置付コンテナボックス	:29台
2t脱着装置付コンテナボックス	:32台
油圧ショベル	:2台
フォークリフト	:2台
振動ふるい機	:1台
手選別コンベア	:1台
磁力選別機	:1台
縦型圧縮梱包機	:1台

計画の策定(Plan)

12) 処理工程図



13) 処理実績

処理方法	廃棄物等種類	処理量(t)
(i) 収集運搬	混合廃棄物	1,721.09
	廃プラスチック類	1,650.01
	金属くず	3,194.00
	コンクリートがら	162.66
	木くず	1,597.24
	廃石膏ボード	286.94
収集運搬量合計		8,611.94

処理方法	廃棄物等種類	処理量(t)
(i) 中間処理 (選別・圧縮)	ガラスくず	639.49
	金属くず	3,712.32
	コンクリートがら	197.75
	廃プラスチック	3,923.15
	がれき類	600.92
	木くず	2,047.84
	廃石膏ボード	310.47
中間処理量合計		12,509.84

2. 認証・登録の対象範囲

1) 対象事業所 本社

2) 対象活動 産業廃棄物収集・運搬及び処分業(中間処理)



3. 環境経営方針

<環境経営理念>

私たち、株式会社 西日本開発は産業廃棄物の収集運搬及び処分を行う企業です。『love the earth』を経営理念として掲げ、地球に優しい企業を目指し、人と自然が共生できる環境づくりに日々取り組んでいます。

今、私たちは、こうした事業活動に伴うエネルギーや資材の使用が地域及び地球の環境に影響を与えていることを十分に自覚し、全社をあげて環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献して参ります。

<環境行動指針>

当社の環境経営理念に基づき深刻化する環境問題に対応するため、環境経営システムを構築・運用し、定期的に見直して、環境経営の継続的改善により以下の事項について自主的、積極的、継続的に取り組みます。

1. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は次の項目を重点項目として、環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物排出量の削減及び3Rを推進します。(Reduce Reuse Recycle)
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) 受託産業廃棄物排出量の処理効率を高め、リサイクル率向上に努めます。
 - (5) グリーン購入に努めます。
 - (6) 地域の環境保全活動には積極的に参加します。
3. 当社の毎年の環境への取り組み状況を環境経営レポートにとりまとめ、全社員に周知させ、一般にも公表します。

制定日 2014年10月1日

改訂日 2020年 9月1日

株式会社 西日本開発
代表取締役 岩瀬 敦

4. 環境経営目標

・当社の事業活動による地域及び地球環境への影響の最小化と、地域社会の環境を良くする取組を含めて、2020年度は以下の6項目13目標を環境経営目標として設定しました。

項 目	単位	基準年	目標値			
		2019年度実績	2020年度	2021年度	2022年度	
		(2019年9月～2020年8月)	(2020年9月～2021年8月)	(2021年9月～2022年8月)	(2022年9月～2023年8月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	121,089	119,890 (1%削減)	118,714 (2%削減)	117,562 (3%削減)	
① 電気使用量の削減	kWh(電灯)	11,768	11,651 (1%削減)	11,537 (2%削減)	11,425 (3%削減)	
	kWh(電力)	1,496	1,481 (1%削減)	1,466 (2%削減)	1,452 (3%削減)	
② ガソリン使用量の削減	ℓ	1,162	1,150 (1%削減)	1,139 (2%削減)	1,128 (3%削減)	
③ 軽油使用量の削減	ℓ	43,354	42,924 (1%削減)	42,503 (2%削減)	42,091 (3%削減)	
2. 廃棄物排出量の削減						
① 一般廃棄物排出量の削減 (可燃ごみ)	kg	48.7	48.2 (1%削減)	47.7 (2%削減)	47.2 (3%削減)	
② 受託した産業廃棄物の リサイクル率の維持	%	94	94	94	94	
3. 水使用量の削減	m ³	310	307 (1%削減)	304 (2%削減)	301 (3%削減)	
4. グリーン購入の推進	品数	14	15	16	17	
5. 車両の燃費向上						
① 収集運搬車両の燃費向上	km/ℓ	5.13	5.18 (1%増加)	5.23 (2%増加)	5.28 (3%増加)	
② 構内作業車両の燃費向上	h/ℓ	2.6	2.62 (1%増加)	2.65 (2%増加)	2.7 (3%増加)	
6. 地域貢献活動の推進						
① 地域行事への参加	回 (行事)	1	1	1	1	
② 地域清掃の励行	回 (清掃)	12	12	12	12	

備考)

1. 基準年の2019年度実績に基づき()の増減率を乗じて数値目標を策定した。
2. 二酸化炭素排出量の計算で使用了購入電力の排出係数は、0.347kg-CO₂/kWh(九州電力(株)2018年度調整後排出係数)を使用した。
3. 化学物質は事業活動で使用していないので、環境経営目標から除外した。

5. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、目標項目毎に具体的な取組(活動項目)を設定して、役割分担を行い、全社員で取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	責任者	達成手段(具体的な取組)	担当者	スケジュール
①電気使用量の1%削減	神代 上野	1. 室温(冷房期28℃、暖房期20℃)を決めて、エアコンで調節する	波呂	冷房期: 5~9月 暖房期: 11~3月
		2. 不要な照明の消灯	岩崎	通年
		3. 無電極ランプの導入	南谷	通年
	神代	1. 昼休み中稼働時間以外の照明を消す	波呂	冷房期: 5~9月 暖房期: 11~3月
		2. OA機器の省電力設定	岩崎	通年
②ガソリン使用量の1%削減	後藤	1. ふんわりアクセルの徹底	岩瀬達	通年
		2. タイヤの空気圧のチェック	岩瀬達	通年
③軽油使用量の1%削減	三角	1. ふんわりアクセルの徹底	弘中	通年
		2. タイヤの空気圧のチェック	重松	通年

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	責任者	達成手段(具体的な取組)	担当者	スケジュール
①一般廃棄物排出量の1%削減 (可燃ごみ)	神代	1. コピー用紙の裏紙利用	波呂	通年
		2. ペーパーレスの徹底	岩崎	通年
②受託した産業廃棄物の リサイクル率の維持(94%)	上野	1. 排出事業者に分別指導	上野	通年
		2. 選別の細分化・リサイクル率の向上	南谷	通年

3. 水使用量の削減

取組目標	責任者	達成手段(具体的な取組)	担当者	スケジュール
①水使用量の1%削減	岩瀬淳	1. 洗いの時はこまめに水を止めて洗う	三角	通年
		2. 車両の洗車の回数を減らす(極力バケツ使用)	重松	通年

4. グリーン購入の推進

取組目標	責任者	達成手段(具体的な取組)	担当者	スケジュール
①グリーン購入の推進 (15品目)	神代	1. エコマーク商品の購入	波呂	通年
		2. ISO若しくはEA21取得業者から購入	岩崎	通年

5. 車両の燃費向上

取組目標	責任者	達成手段(具体的な取組)	担当者	スケジュール
①収集運搬車両の燃費向上 (1%増加)	神代	1. 回収ルートの特効化	河村	通年
		2. 日常点検・定期点検の実施	西山	通年
②構内作業車両の燃費向上 (1%増加)	上野	1. 日常点検・定期点検の実施	岩瀬淳	通年
		2. 作業時に必要以上の回転数を上げない	上野	通年

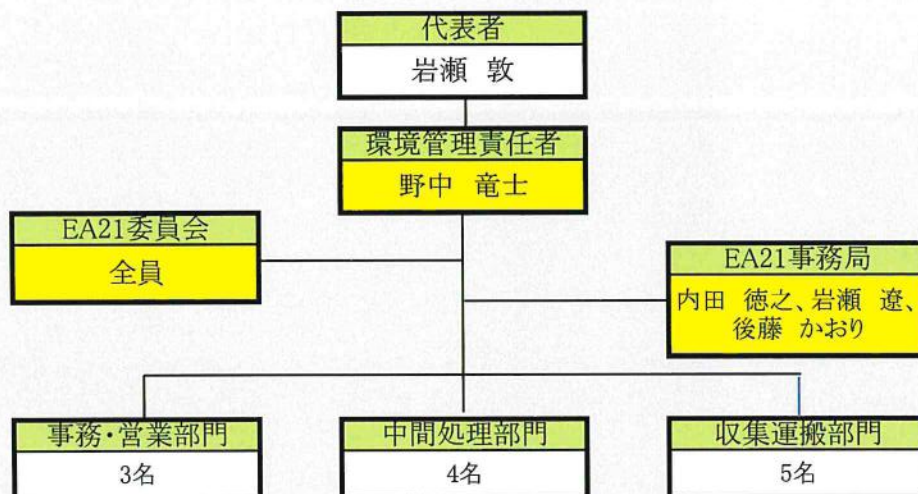
6. 地域貢献活動の推進

取組目標	責任者	達成手段(具体的な取組)	担当者	スケジュール
①地域行事への参加	岩瀬淳	1. 町内行事に積極的に参加する	後藤	通年
②地域清掃の励行	岩瀬淳	1. 定期的に会社周辺の清掃活動を行う	西山	通年

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

- ・2020年度試に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- ・なお、実施に当たっては、社内に次のような実施体制を構築して、全社員が一丸となって実施しました。

(1) エコアクション21実施体制



(2) 2020年度運用期間に実施した環境への取組

環境負荷を削減する取組

LED照明、省エネ型業務用エアコン

室温管理、節電の掲示シール

環境対応型重機

計画的な燃費の良い車両への入れ替え

CO2削減

環境負荷を削減する取組



裏紙専用トレイのプリンター

ごみ減



本社事務所内での管理マニフェスト

受託産業
廃棄物の



手選別による分別の徹底

水の減量



節水シール

環境負荷を削減する取組、環境を良くする取組



井戸と計量メーター

水の減量



収集運搬車両、作業車の期別燃費集計

車両の
燃費向上



ドライブレコーダーの設置



メータに踏み込み範囲のマーキング

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・ 取組結果とその評価、並びに今後の取組

(1) 環境経営目標の実績

- ・2020年度における環境経営目標の達成状況は、以下のとおりです。
- ・設定した6項目13目標のうち、4項目8目標で環境経営目標を達成できました。
- ・当社の最大の環境負荷となっている二酸化炭素排出量は、目標達成率が91%でした。これは基準年とした2019年度から比べて、処理量が約30%増加したためと考えられます。
- ・また、水使用量が目標を大きく上回りました。これは安定型処分場への搬入に際し、粉塵対策として散水した分が大きく影響したためと考えられます。
- ・今後は適時、実態に合った目標値の適正化を図り、社員一丸となって意識を高め、取組と目標を徹底していきます。

項 目	単位	基準年	2020年度 (2020年9月～2021年8月)		目標達成率	目標達成の 判定
		2019年度実績	目標値	実績値		
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	121,089	119,890 (1%削減)	131,745	91%	△
① 電気使用量の削減	kWh(電灯)	11,768	11,651 (1%削減)	12,852	90%	△
	kWh(電力)	1,496	1,481 (1%削減)	1,756	84%	△
② ガソリン使用量の削減	ℓ	1,162	1,150 (1%削減)	609	188%	◎
③ 軽油使用量の削減	ℓ	43,354	42,924 (1%削減)	48,816	87%	△
2. 廃棄物排出量の削減						
① 一般廃棄物排出量の削減 (可燃ごみ)	kg	48.7	48.2 (1%削減)	52.8	103%	○
② 受託した産業廃棄物の リサイクル率の維持	%	94	94	97	102%	○
3. 水使用量の削減	m ³	310	307 (1%削減)	564.6	54%	×
4. グリーン購入の推進	品数	14	15	15	100%	○
5. 車両の燃費向上						
① 収集運搬車両の燃費向上	km/ℓ	5.13	5.18 (1%増加)	5.18	100%	○
② 構内作業車の燃費向上	h/ℓ	2.6	2.62 (1%増加)	3.07	117%	○
6. 地域貢献活動の推進						
① 地域行事への参加	回 (行事)	1	1	1	100%	○
② 地域清掃の励行	回 (清掃)	12	12	12	100%	○

備考) 1. 目標達成率の計算 削減目標の場合: 目標÷実績×100 増加目標の場合: 実績÷目標×100
2. 目標達成判定区分 ◎: 目標達成率120%以上、○: 100%以上120%未満、△: 80%以上100%未満、×: 80%未満、-: 判定不可

取組状況の確認及び評価(Check)

(2) 環境経営計画の実施・取組結果とその評価

・2020年度運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、社員の環境への意識は向上し、設定したほとんどの項目で取組が適切に実施できており、概ね良好な結果となっています。
 ・なお、目標達成状況と取組実施状況の関係から、両者が一致しない項目については、次年度の計画(目標、取組)の見直し対象と考えており、状況をしっかりと確認して適時見直していきます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	目標達成状況	達成手段(具体的な取組)	取組実施状況	評価
①電気使用量の1%削減	△	1. 室温(冷房期28℃、暖房期20℃)を決めて、エアコンで調節する	○	全体的にはしっかり意識できている。新入社員も入ってきたので日頃から意識できるように今後も指導していく必要がある。
		2. 不要な照明の消灯	○	
		3. 無電極ランプの導入	○	
	△	1. 昼休み中稼働時間以外の照明を消す	◎	
②ガソリン使用量の1%削減	◎	2. OA機器の省電力設定	○	運転の仕方も意識しなくても自然と身についてきている。
		1. ふんわりアクセルの徹底	◎	
③軽油使用量の1%削減	△	2. タイヤの空気圧のチェック	◎	しっかり意識的にやってくれているドライバーもいるが、なかには指導が必要なドライバーもいる。まだまだ改善の余地がありそうだ。
		1. ふんわりアクセルの徹底	△	

備考) 達成状況判定区分 ◎: 目標達成率 $\geq$ 120% ○: 100% $\leq$ 達成率 $<$ 120% △: 90% $\leq$ 達成率 $<$ 100% ×: 達成率 $<$ 90%
 —: 判定不可
 実施状況判定区分 ◎: よく実施されている(定着状態) ○: 実施されている △: ほぼ実施されている
 ×: 実施されていない —: 判定不可

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	目標達成状況	達成手段(具体的な取組)	取組実施状況	評価
①一般廃棄物排出量の1%削減(可燃ごみ)	○	1. コピー用紙の裏紙利用	○	徹底してやれている。
		2. ペーパーレスの徹底	○	
②受託した産業廃棄物のリサイクル率の維持(94%)	○	1. 排出事業者分別指導	○	徹底してやれている。
		2. 選別の細分化・リサイクル率の向上	○	

3. 水使用量の削減

取組目標	目標達成状況	達成手段(具体的な取組)	取組実施状況	評価
①水使用量の1%削減	×	1. 洗いの時はこまめに水を止めて洗う	○	徹底してやれているが、前年度よりも仕事上水を使用しなければならなくなったので、目標を訂正する必要がある。
		2. 車両の洗車の回数を減らす(極力バケツ使用)	○	

4. グリーン購入の推進

取組目標	目標達成状況	達成手段(具体的な取組)	取組実施状況	評価
①グリーン購入の推進(15品目)	○	1. エコマーク商品の購入	○	低コストなものにばかり目が行きがちなので、グリーン商品との比較も検討しながら購入する。
		2. ISO若しくはEA21取得業者から購入	○	

取組状況の確認及び評価 (Check)

5. 車両の燃費向上

取組目標	目標達成状況	達成手段(具体的な取組)	取組実施状況	評価
①収集運搬車両の燃費向上 (1%増加)	○	1. 回収ルート効率化	○	日常点検の取り組みはしっかりできている。ルートの効率化に関しては常にミーティングで確認していくようにしたい。
		2. 日常点検・定期点検の実施	○	
②構内作業車両の燃費向上 (1%増加)	○	1. 日常点検・定期点検の実施	○	日常点検はしっかりできている。高回転での作業は極力使わないように指導している。
		2. 作業時に必要以上の回転数を上げない	○	

6. 地域貢献活動の推進

取組目標	目標達成状況	達成手段(具体的な取組)	取組実施状況	評価
①地域行事への参加	○	1. 町内行事に積極的に参加する	○	清掃活動はみんなが積極的に取り組んでいる。
②地域清掃の励行	○	1. 定期的に会社周辺の清掃活動を行う	○	

(3) 今後の取組

1) 環境経営目標について

- ・環境経営目標については、水使用量の削減が目標値を大きく上回り、実態との乖離が見られたので、次年度の使用実績を確認し、必要に応じて目標値の見直しを行います。
- ・また、最大の環境負荷である二酸化炭素排出量も目標未達成となりましたが、事業の拡大(処理量の増加)の影響があり、今後は効率をみる原単位目標(売上げ当たり、処理量当たり)の必要性を社内で検討していきます。
- ・以上の点から、次年度目標は中長期目標で定めた2021年度を適用するものの、上記2点の実態を更に把握して、必要な見直しを適時行います。

2) 環境経営計画について

- ・環境経営目標の達成状況と環境経営計画の実施状況との関係から、目標未達成となった電気、軽油使用量と水使用量については、現在の取組を引き続き周知徹底して実施することとします。
- ・なお、取組効果が得られない場合は、更なる追加の取組を含めて環境経営計画の見直しを行います。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動に適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2020年度事業活動終了後に法令遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの指摘の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	産業廃棄物の収集運搬事業、中間処理事業	○
自動車リサイクル法	収集運搬車両・営業車	—
家電リサイクル法	事務所内家電製品(テレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機)	—
オフロード法	重機・フォークリフト	○
フロン排出抑制法	事務所内業務エアコンの簡易定期点検	○

備考) 遵守評価区分 ○:遵守、×:不遵守、—:該当なし

全体の評価と見直し (Act)

9. 代表者による取組状況の全体評価と見直しの結果

1) 取組状況の全体評価

- ・2020年度を振り返ってみると、EA21委員会を開催し、目標と実績をしっかりと分析することが大事だと感じました。
- ・取組状況に関しては、全社員が積極的に取り組んでいます。
- ・新入社員も入ってるので全体的な教育が大事だと感じています。

2) 計画の見直し結果

- ・事業拡大時期(増員、増車)に当たり、実績値の挙動確認を行い、必要に応じて実態にあった目標に見直していきます。
- ・定期的なEA21委員会の開催とは別に、グループ毎のミーティングも必要性を感じています。そういった場を設けることで社員の意識もさらに高まっていくように思います。
- ・エコアクション21による環境経営を推進していくために、PDCAサイクルをしっかりと回して、来期こそは全項目での目標達成に向けて全社員で取り組んでいきます。